

北広島商工会だより

令和3年9月1日号
第124号

会員の状況
(部会の重複加入あり)

会員	760名 (+ 3、- 1)
商業	445名 (+ 3、- 1)
工業	371名 (+ 0、- 0)
青年	53名 (+ 1、- 0)
女性	55名 (+ 0、- 1)

※+加入人数、-脱退人数

発行 北広島商工会事務局
責任者 事務局長 藤木 幹久
〒061-1121

北広島市中央5-7-2
TEL 011-373-3333
FAX 011-373-3212

shokokai@kitahironavi.or.jp
http://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社PR掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(会員相互PR事業)

ホームページ改善講習会

8月6日にホームページ改善講習会を開催し、10事業所が参加しました。

昨今、ホームページ(以下HP)は、あったらいいあの時代から、より効果的な情報ツールとなっているかが問われる時代が変わっています。この講習会は、自社のHPが本来の目的を果たしているか。効果的なものにするにはどの様に改善したらよいかを学ぶもので、講義後の特典として自社HPを診断してもらい、後日専門講師による個別の相談会が設けられました。

開催にあたっては、パソコン教室を運営する㈱フレックスジャパンにコーディネートを手がける㈱ガーディアンに務めていただきました。

講義の中で、HPの主な改善のポイントは、それぞれ個別のHPがどの様な状況にあるかで大きく変わるものの、①誰が見ても分かりやすい・古臭いものではないか、②第一印象は2〜3秒で決まる、③スマートフォンへの対応、④自社で更新作業ができるかどうか、⑤SEO(検索エンジンの最適化)基礎設定、⑥セキュリティ対策、⑦SNSとの連携について、の7つあると説明がされました。



講義の後半には事前に希望のあった企業のHPを使用して簡易診断を行いながら、具体的な改善説明を受けました。

これまでは自社の情報を有料で掲載するポータルサイト(食ベログやマイナビなど)への登録が主流でしたが、近年はそのようなサイトに登録せずともHP情報を自動で収集し、無料で取り上げてくれるサイトが主流となっています(インディードなど)。前述の7つのポイントを満たしたHPを持つていれば、無料で効果的に自社情報を有効なサイト上で紹介することが出来ます。

総務省の調査によると、2019年のインターネット利用率は約90%となっており、60代以上の利用も大きく上昇しています。事業者は、利用者が求めている情報を提供できるHPを保有することが出来ます。

後日実施した個別相談会も含め、参加者にとって有意義な講習会となりました。

工業部会(部会長 蕪木 清文)

AI(人工知能)導入事例などを学ぶ講習会

8月17日、商工会館で第2回幹事会を開催し、前段に講師例会を実施。北海道銀行北広島支店の宮崎支店長から「AI導入による生産性向上の事例紹介」というテーマで講話いただきました。

AI(人工知能)という言葉をよく耳にするようになりましたが、実際にはどう活用されているのか分かっていない部分も多いと思われます。今回の事例は、北海道大学の「北大発ベンチャー企業」の認定を受けた株式会社調和技研のAI技術を活用し、画像AIを活用したもので、①ジャガイモの選別を半自動化し作

業時間を50%削減したものの、②人手による現地調査の前段階として、自動車などで動画を撮影し壁面のクラック(亀裂)を検出するもの。③ブランド品の査定買取プロセスを自動化するもの。④メールを自動的に分類する機能や文章を要約分類するもの。⑤小売業の時間帯別客数予測AIによる従業員のシフト管理をするものなどが紹介されました。

新型コロナウイルス感染拡大前は各業界で人手不足が叫ばれていました。新型コロナウイルスの収束は未だ見通せませんが、景気が回復すれば労働人口の減少もあり同じ状況が生じるものと予想されます。

中小企業者であっても、業務改善や作業効率化の取り組みは必須で、今後ますます身近になってくるAIの活用を考えるきっかけとなりました。

また、幹事からの各業界の動向発表では、燃料や原材料価格の高騰、新型コロナウイルスの影響による受注の落ち込み、残業時間の制限による事業への悪影響などが報告されました。

青年部(部長 西尾 広美)

交通安全街頭啓発運動を実施

この事業は毎年、道商工会青年部連合会が呼びかけ、各商工会青年部が交通安全事故防止を訴え、地域住民に交通安全意識の浸透を図ることを目的として実施しています。

当青年部では7月8日、部員11名が参加し、JR北広島駅前通りと道道江別恵庭線の交差点で実施しました。昨年は新型コロナウイルスの影響を受け9月に実施しましたが、今年は感染予防対策を

行った上で、例年と同じ時期に実施。交通事故が多く発生する日没時に、参加者が道路を挟むよう二手に分かれて、江別方面と恵庭方面に向かうドライバーの方に対し、交通安全の旗を振りながら交通事故防止を訴えました。



7月20日、当部員である齋藤聖悟氏(㈱澄川工作所)を講師とし、「IT技術の活用について」をテーマに講習会を開催。部員11名が参加しました。

講習会

IT技術の活用について

近年、IT分野ではDX(デジタルトランスフォーメーション)、IOT(モノのインターネット)、AI(人工知能)、ソーサエティーという言葉を見聞きすることが多くなりました。これらの言葉を総括すると、コンピューターやインターネット技術を活用し人々の生活を良くしていく社会の仕組みづくりのことです。

ITを活用した澄川工作所の取り組みとしては、Googleクラウドで社内データをまとめ、見積書の確認、資料の共有指示の伝達といった場面で活用し、事業所内外を問わずどこでも情報を共有、編集することができ、業務の円滑化につながっているとのことでした。

一方で、アメリカ全域に展開していた老舗のレンタルビデオ店が、ネットフリックスやアマゾンプライムビデオといった動画配信サービスの台頭によって廃業となった事例も紹介されました。

テクノロジーの進化により商売の形が大きく変化している今、ITが苦手だから取り組まないのではなく危機感を持って変



化に適応することが求められていることでした。本講習会はIT活用例や身近な疑問等を題材に、今後2回開催する予定です。

女性部(部長 山美 直美)

畑一面の開花を期待して

6月3日にコスモスの種を植え、約1か月経った7月7日。部員10名でコスモスの雑草取りを実施しました。

前日まで天候の悪い日が続き実施延期かを悩みましたが、畑の状況を見て実施。一時間の作業で、あゆみ橋側の畑の雑草取りを完了しました。あゆみ橋側には今年初めて黄色い花弁の「ギバナコスモス」を植えており、見慣れた通常のピンクのコスモスと葉の形状が違うため、参加者は雑草と見分けるのに苦労していました。

今年都合によりJR高架橋側のコスモス畑の雑草は取れませんでした。負けずにコスモスはたくましく育っています。キバナコスモスはすでに咲き始めており、ピンクのコスモスもこれから見頃となりますので、近くにお立ち寄りの際はぜひ鑑賞してください。



新会員紹介

〇YUTAKA

熊田 理恵 様

〇A/S ふじの事務所
藤野 伸之 様
山手町4-4-3

〇オールエス
玉田 佳祐 様
大曲柏葉5-12-18

〇商業部会
大曲工業団地7-3-4
大曲柏葉5-12-18